

活用方針



VLP取組概要

日

適

■ VLP活用のねらい

(適) オンラインを活用した「つながり・居場所づくり」 図書館を利用した支援やメンタルフレンドなど、通所できない児童・生徒への支援と同様に「支援」の一つとする。

(日) 日本語での会話の機会の増加

■ 対象生徒・児童

(適) つくし教室（適応指導教室）に在籍している児童・生徒

(日) 日本語学級設置校及び日本語指導教員加配校で、日本語指導を受けている児童・生徒

■ 運営時間

(適) 午前 8 時から午後 6 時

(日) 日本語指導の授業時間内

■ 活用方法

(適) 朝の会の配信、行事の事前学習の配信、オンライン支援員との交流、学習ツールの活用

(日) 日本語学級設置校及び日本語指導教員加配校をメタバースでつないでの交流を実施

活動・取組み内容



活動・取り組み内容

【前期】

・つくし教室に対する緊張感を弱めるために、継続的に朝の会や行事の事前学習を配信して安心感をもたせた。また、児童・生徒がログインした際にオンライン支援員と会話することで、児童・生徒にとってつながりを感じられる環境を整え、居場所として活用することができた。

【後期】

・前期に引き続き、つくし教室での活用を継続した。
・日本語指導では、日本語学級設置校及び日本語指導教員加配校で日本語指導を受けている児童・生徒を対象として、メタバースを活用して学校の枠を超えた交流を実施した。

成果/好影響・次年度以降の方針・利用者の声

成果/好影響

- ✓ (適) 昨年度から今年度の1学期にかけてVLPを多用していた児童・生徒が、今年度はVLPに頼らずに登室することができる回数が増えた。
- ✓ (適) メタバースに設置されている学習用アプリケーション(デキタス)を使って、自分が学びたい内容を選んで取り組む様子が見られた。
- ✓ (適) 朝の会や行事の事前指導をオンライン配信することで、その日に登室できない児童やその保護者が安心感を得ることができた。
- ✓ (日) 他校との交流をすることで「日本語を学ぶ」ことへの意欲や励みとなった児童・生徒がいた。

次年度以降の方針

- ✓ 不登校支援ではVLPを対面での指導・支援に繋げるための補助的な取組と位置付け、今年度と同様の取組を継続する。
- ✓ 不登校対策の取組として保護者への周知をすすめていく。

利用者の声



- (適) アバターが増えて、自分の気に入ったアバターを使えるようになってうれしかった。(生徒)
- (適) 「デキタス」を使って、よく分からなかった内容をもう一度学び直すことができてよかった。(生徒)
- (日) 他の学校の友達と交流できてうれしかった。



- 子どもへの対応をどのオンライン支援員の方でも同じようにしてもらえると、より安心してメタバースを使えるのではないかと思います。(保護者)
- メタバースに接続するための説明自体を、低学年の児童でも簡単に分かるようにしてもらえると、家から一步も出ることができない子どもも利用できると思いました。(保護者)
- 音声や接続がもっと滑らかになると交流しやすいと思います。(教職員)

<<令和 6 年度の日本語指導での活用の取組について>>

6 新教支教第 1256 号
令和 6 年 9 月 18 日

日本語学級設置校長
日本語指導教員加配校長

教育指導課長
教育支援課長

東京都教育委員会との連携事業（日本語指導）の協力について（依頼）

日頃より、本区の教育支援事業へのご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。
新宿区教育委員会では、令和 4 年度より東京都教育委員会との連携によるバーチャル・ラーニング・プラットフォーム（仮想空間、メタバース）を活用した日本語指導の取組を行っているところです。
令和 6 年度においては、日本語学級設置校・日本語指導教員加配校において、バーチャル・ラーニング・プラットフォーム（仮想空間、メタバース）を活用した日本語指導の交流等取組を行います。
つきましては下記のとおり、日本語指導に係る連携事業について、ご理解・ご協力をくださいますようお願いいたします。

記

- 東京都との連携事業
○協 定：新宿区教育委員会と東京都教育委員会による連携協定
○名 称：バーチャル・ラーニング・プラットフォーム（VLP）
- 取組期間
令和 6 年 9 月から令和 7 年 3 月まで
- 取組内容
仮想空間（メタバース）において、オンライン交流を行い、授業
- 対象児童・生徒
小学 4 年生から中学 3 年生で、日本語学級設置校及び日本語教員加配校で日本語指導を受けている児童・生徒のうち、指導内容が「③技能別日本語」、「④日本語と教科の統合学習」、「⑤教科の補習」の段階にある児童・生徒

※ただし、東京都教育委員会から配布されたアカウント数に基づき、学校ごとの ID の配布は、以下の通りとします。

- 日本語学級設置校・・・小学校 4～6 年生の人数分、中学校 1～3 年生の人数分
- 日本語指導教員加配校・・・小学校各校 3 名分、中学校 1～3 年生の人数分

時期の目安	内 容	備 考
9 月	・区通知送付（令和 6 年度協力依頼）	※教育委員会→学校へ
	・教育委員会から各校への電話連絡と説明をする。	※教育委員会→学校へ
	・対象児童・生徒の決定を行う。	※学校で区通知を基に、対象児童・生徒を決めてください。 ※決定に迷った際は、担当指導主事へご相談ください。
9 月 30 日まで	・対象児童・生徒の保護者へ、教育委員会作成の保護者向け通知とへの ID・パスワードの配布をする。	※学校→保護者へ
保護者への通知	・対象児童・生徒の一覧を教育委員会担当指導主事へ提出する。	※学校→教育委員会へ
10 月末まで	・教育委員会による各校日本語指導担当教員へ利用方法の説明をする。	※教育委員会→学校へ ※各校と日程調整し、担当指導主事から学校担当者へ個別に説明を行います。
教育委員会による説明後随時	・各校において、VLP へのアクセスを行い、児童・生徒と仮想空間に入って操作を行ってみる。	※校内において児童・生徒と日本語指導担当教員で
12 月～3 月	・各校において日本語指導における活用実践を行う。	※ペア校、ペア児童については、後日調整を行います。
※時期未定 2 月頃	・各校における実践の報告をまとめる。	※学校で実施していただいた内容を教育委員会できりとまとめます。

＜＜令和 6 年度の日本語指導での活用の取組について（ログイン用資料）＞＞

VLP（バイエルピー）の入り方

児童・生徒用

- 1 まなびポケットを開いて、二次元コードを読み取る。
 - 2 アカウント・パスワードを入力する。
 - 3 ログインボタンをおす。
 - 4 「新宿区__メタバース教室」をおす。
 - 5 青い「イベントに参加」をおす。
 - 6 真ん中の青い「webgl版で参加する」をおす。
- しばらく まつ。
- 7 「にほんごのへや」をおす。
 - 8 OKをおす。
 - 9 チュートリアルが出てきたら、「閉じる」をおす。
 - 10 やじるしで、アバターをうごかしながら、へやに入る。

